

吉井川で結ばれる『山と海の交流』

山と海は川によって繋がり、樹木で覆われる山々は清らかな水を生み、その水は川によって海に運ばれ、豊かな海が広がるといわれています。

川によって山と海は結ばれており、そこで生活を営んでいる人々は川の流れにより深い関係で結ばれていることから、お互いに山・海を知ることによって更に豊かな山と海を育てることとなることから、山と海の交流を行って行くことは重要です。

河川の源流域である鏡野町には山々が豊かな森林として広がり鏡野町の主要産業である林業により適切に保育されているため清らかな水が育まれています。

更に鏡野町には、苫田ダムが平成17年4月に運用開始し、洪水調節・灌漑用水・上水道用水・工業用水・発電を目的とした多目的ダムとして岡山市も恩恵を被っています。

また、平成18・19年には岡山市ひいては岡山県の主要な水産業であるノリ養殖において海の栄養塩不足により、ノリの色落ちが発生し、その対策として岡山県知事の苫田ダムへの緊急放流要請がなされ、苫田ダム利水者及び吉井川の利水者の理解がえられたことによる平成18・19年の緊急放流で、ノリの色落ちが改善されました。

このように、山と海は川で結ばれ密接な関係でつながれています。

この交流では、人々の生活には欠くことの出来ない「水」によって繋がれている輪であり、「水」に関することをテーマとして活動を行うと共に、吉井川の「水」で繋がる吉井川流域への輪として広がることを目標としています。

なお、鏡野町（旧富村）と岡山市は、旭川でつながる交流として昭和33年の分収造林事業を皮切りに昭和62年からの両市・町の小学生が参加するワンパク探検隊から森林体験学習キャンプへと続く交流事業を行い親交を深めています。

鏡野町と岡山市は、旭川のみならず吉井川においても更なる交流を深めるものです。

○参加団体

- ・ 作州かがみの森林組合
- ・ 株式会社 未来奥津
- ・ 株式会社 花美人の里
- ・ NPO法人 てっちりこ
- ・ 奥津温泉観光協会
- ・ 岡山県漁業協同組合連合会
- ・ 児島湾漁業協同組合連合会
- ・ 財団法人 岡山市水産協会
- ・ 児島湾漁業振興協議会

○山と海の交流の始まりとして、下記の行事をおこないます。

1. まなびピア岡山 in おかやまシティ

共催事業シンポジウム「児島湾の漁業と環境を考える」

～美しい森が育む豊かな海～“里山”と“里海”の交流

・ 日 時：平成19年11月3日（土）13：00～17：00

・ 場 所：岡山コンベンションセンター1階イベントホール

・ 詳しくは、<http://www.city.okayama.okayama.jp/keizai/nourin/suisan/>
[児島湾の漁業と環境を考える.pdf](#) をご覧下さい。

2. 長巻寿司

・ 日 時：平成19年11月4日（日）12：00～

・ 場 所：岡山県苫田郡鏡野町（苫田ダムの上）

・ 詳しくは、<http://www.mirakuru.ne.jp/> をご覧下さい。

○備 考

問い合わせ先

・ 鏡野町 産業課 課 長 井場 茂雄（いば しげお）
主 任 小谷 英（こだに あきら）

TEL（0868）54－2987

・ 岡山市 農林畜産課

係 長 瀬島 和憲（せじま かずのり）
主 任 森安 秀隆（もりやす ひでたか）

TEL（086）803－1345

・ 国土交通省 中国地方整備局 苫田ダム管理所

所 長 本多 卓志（ほんだ たくし）
専門員 大槻 清人（おおつき きよと）

TEL（0868）52－2151



「児島湾の漁業と環境を考える」

～美しい森が育む豊かな海～ “里山”と“里海”の交流

日時 平成19年11月3日(土・祝) 13:00～17:00

場所 岡山コンベンションセンター 1Fイベントホール
(岡山市駅元町14番1号 TEL.086-214-1000) (参加無料)

内 容

【第1部】 特別講演 “ウナギ大回遊の謎” (13:00～)

東京大学海洋研究所海洋生命科学部門

教授 **塚 本 勝 巳 氏**

プロフィール

1948年11月9日生(岡山県玉野市生まれ)

1974年東京大学海洋研究所助手

(アユ、サクラマス、ウナギなど回遊魚の研究を始める。)

1994年東京大学海洋研究所教授。現在に至る。

【専門分野】 海洋生物学

【主な著書】 「現代の魚類学」、「魚類生理学」、「川と海を回遊する淡水魚」、「稚魚の自然史」、「海の生き物100不思議」



【第2部】 パネルディスカッション「児島湾の漁業と環境を考える」

～美しい森が育む豊かな海～ “里山”と“里海”の交流 (14:40～)

(1) 「児島湾の物理的環境」 (30min) 京都大学名誉教授 奥田 節夫 氏

(2) 「児島湾の漁場環境」 (30min) 岡山県水産試験場場長 尾田 正 氏

(3) パネルディスカッション (80min)

【パネリスト】 京 都 大 学 名 誉 教 授 奥 田 節 夫 氏 : コーディネーター

岡山県水産試験場場長 尾田 正 氏 岡 山 大 学 教 授 青 山 勲 氏

岡 山 市 副 市 長 天 野 勝 昭 氏 小 串 漁 業 協 同 組 合 組 合 長 竹 原 慎 男 氏

苫 田 ダ ム 管 理 所 所 長 本 多 卓 志 氏 鏡 野 町 長 山 崎 親 男 氏 (順不同)

※パネリストによるディスカッションの後、フロアーを交えての意見交換

お問い合わせ

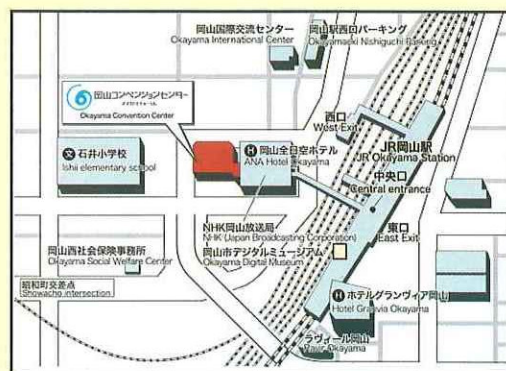
〒700-8544 岡山市大供1-1-1

岡山市農水畜産課

TEL.086-803-1345 FAX.086-803-1739

主催/岡山市・岡山市水産協会

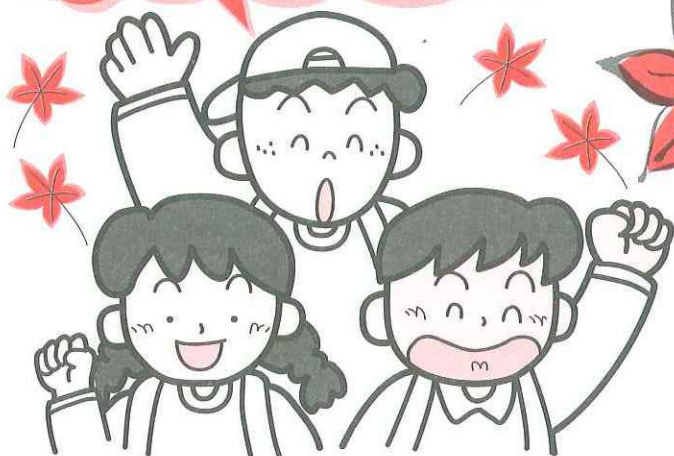
共催/児島湾漁業振興協会 後援/岡山県・岡山県漁業協同組合連合会



奥津伝承の長巻寿司 20 周年記念 手と手でつなぐ地域交流
水でつながる山と海の交流 (山と海のコラボレーション)

苦田ダムで225mの 巻寿司を作ろう!

長〜い



平成19年

11/4(日)

(予備日 11月10日(土))

正午より開始

●申し込み方法 (以下の3種類の方法の内からお選びください。)

- ① 下記申し込み用紙に必要事項を記入してこの用紙をそのままFAXしてください。
- ② はがき1枚で5名まで有効です。下記申し込み用紙に記入して貼り付けてください。
- ③ ホームページから必要事項を記入して送信してください。

申し込みは簡単、今すぐこちらへ!

- ① FAX 0868-52-2226 奥津湖総合案内所みずの郷奥津湖
水資源活用「奥津湖交流イベント」実行委員会 行
- ② はがき 〒708-0431 岡山県苦田郡鏡野町河内60-8 奥津湖総合案内所みずの郷奥津湖
水資源活用「奥津湖交流イベント」実行委員会 行
- ③ インターネット みずの郷奥津湖 URL <http://www.mirakuru.ne.jp/mizunosato/>

●問い合わせ先 奥津湖総合案内所 TEL0868-52-2225 E-mail mizunosato@mirakuru.ne.jp

●通 知

平成19年10月20日までに代表者の方に決定通知書を送付します。

締め切り

平成19年9月末日までに**必着**
(定員になり次第締め切ります)

----- はがきキリトリ線 -----

申し込み書

受付No. ※ 整理No. ※

※は主催者で記入

氏 名	年 齢	住 所

連絡先	代表者名	電話	緊急連絡先 (携帯電話など)

※ ご記入いただいた個人情報は、このイベントで利用する目的以外には使用いたしません。

参加者の募集は、 終了しました。

参加者募集

巻寿司参加人数

450名

参加費用 (保険料及び 巻寿司1本付)

お一人様 100円

- ※ 参加費用は当日徴収します。
- ※ 小学生以下は保護者同伴とします。
- ※ 指定駐車場からはシャトルバスでの移動となります。

ボランティアスタッフ

100名

(事前打ち合わせに参加できる方)

申し込み先 TEL 0868-52-2225

- 主 催：水資源活用「奥津湖交流イベント」実行委員会
共 催：国土交通省中国地方整備局苦田ダム管理所
岡山県美作県民局、鏡野町
鏡野町観光振興協議会、(株)未来奥津
(株)花美人の里、NPO法人てっちりこ
後 援：岡山県漁業協同組合連合会
岡山県水道企業団、マスメディア各社